

子育て支援センターだより

Tel 52-3210

■6月後半～7月前半の予定■

- ◎6/19(木) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
- ◎6/23(月) 園開放・小久慈保育園 10:00～11:30
- ◎6/25(水) リフレッシュ講座「太極拳」 10:30～12:00
- ◎6/26(木) 絵本の読み聞かせ 10:30～11:30
- ◎7/2(水) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
- ◎7/3(木) うさこちゃんの部屋 11:00～12:00
- ◎7/7(月) 季節の遊び 10:30～11:30
- ◎7/9(水) ひよこ教室 10:00～12:00
- ◎7/11(金) リフレッシュ講座「セラピー」 10:00～12:00

■利用案内■

◇対象…就学前の児童とその保護者◇利用時間…毎週月～金曜日、8時30分～17時(土曜日は8時30分～12時)◇お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日、年末年始◇利用料…無料

図書館だより

今月の
オススメ
図書

《市立図書館》

「100%幸せな1%の人々」

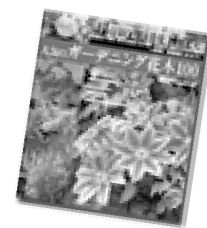


小林正観 著
榊中経出版

悩み、仕事、病気、お金、子ども、すべてのことを受け入れて100%幸せに生きる1%の人になる。ありがとうございます魔法の言葉。ゆったり読んでみませんか？

《山形図書館》

「人気のガーデニング花木100」



主婦の友社 編
主婦の友社

さまざまな色合いの花が咲き乱れるこの季節。すてきなガーデニングを楽しんでみませんか？花木の基礎知識などイラストつきで解説しています。

《市立図書館 ☎53-4605》

- 開館…火～金9～19時、土日9～17時
- 休館…月曜日、祝日(祝日が月曜日に重なる場合は翌日)、毎月末日
- チビッコの部屋6/14(土)・28(土)14時～14時30分
- 図書館えいがかい6/14(土)10時・15時
- 文学賞受賞図書展6/13(金)～22(日)
- 《山形図書館 Tel.72-3711》
- 開館…10～18時 ■休館…月曜日、祝日(祝日が月曜日に重なる場合は翌日) 毎月末日
- しかけ絵本展6/13(金)～29(日)



おいしいまめぶで霜畑を知ってもらいたい。心を込めてまめぶをつくる生徒たち

まめぶもおいしいですよ」と目一杯の笑顔で話しかけ、大好きな霜畑を紹介しました。試食会で配ったアンケートには「おいしいまめぶと温かい気持ちがありがとう」「昔山形に行ったことを思い出した。みんなの元気な姿をみれてうれしい」など、多くの心温まるコメントが寄せられました。

霜畑中学校、最後の修学旅行で初めて取り組んだまめぶの試食会。生徒みんなのふるさとを思う気持ちは、しっかりと伝わりました。

小国小・校庭整備にありがとう



新栄産業の社員と生徒らで記念写真

新栄産業(株)(松坂誠司社長)はボランティアで小国小学校(吉田幸子校長)の校庭を整備しました。連休を除く5月初めに作業

社員約5人が連日朝から夕方まで汗を流し、花壇を設置するなど、きれいに校庭を整備しました。5月8日は同社社員と生徒らで記念撮影。生徒は「すごいきれいになった。ありがとう」と大喜びで感謝していました。

整備のきっかけは同社が昨年同校近くで行った河川工事騒音などで迷惑をかけた代わりにと同社が整備を申し出ました。ボランティア整備は今後も年1回程度行う予定。下館光彦専務は「市全体に取り組みが広がれば」と期待を込めていました。

がっこう ニュース

- 霜畑中・ふるさと伝える修学旅行
- 長内中・自転車マナーアップ!
- 小国小・校庭整備にありがとう

霜畑中・ふるさと伝える修学旅行
本年度かきりで山形中学校に統合となる霜畑中学校(田口秀一校長)の3年生13人は4月17日、修学旅行の一環としていわて銀河プラザ(東京都)でまめぶの試食会を行いました。

試食会は、自分たちのふるさとの情報発信をしようと生徒みんなで計画。地域の方

ら教わり、事前にまめぶ作りの練習をしました。霜畑や学校の良い所を多くの人に伝えようと、まめぶの作り方や学校の歴史などを紹介したチラシも作成しました。

当日はまめぶの調理やチラシ配りに大忙し。生徒は次から次に来場してくる一人一人に「霜畑は良いところですよ」

長内中・自転車マナーアップ



交通安全教室で交通ルールとマナーを再確認

新校舎に移転して初めての春を迎えた長内中学校(榎本康雄校長)は4月22日、久慈警察署(藤原明署長)などから本年度の自転車マナーアップモデル校に指定されました。

この日は、自転車の安全運転に向けた講話や教室も開催。生徒たちは真剣な顔で安全運転と盗難防止に向けて気を引き締めていました。



柏木美子さん
(小久慈町・31歳)

元気をくれる
すてきな笑顔
街の魅力づくりも
笑顔から

や

ませ土風館に、いつもすてきな笑顔で迎えてくれる人がいる。柏木美子さん、その人だ。風の館と土の館で構成するやませ土風館。柏木さんは土の館を運営する(櫛街の駅・久慈で、イベントの企画や印刷物の作成などを担当し、毎日忙しく動き回っている。イベントでは、もんぺにはんてんを身にまとい、頭にほおかむりをして「懐遊おぼさん」に変装。人を和ませいでたちで紙芝居の読み聞かせなども行う。仕事の様子を見てみると、とにかく元気。「来た人が喜んでくれるとうれし

いだから」。そう元気の源を話す表情は、つられるほど気持ちのいい笑顔だ。

以前、札幌の劇団に所属していたという柏木さん。劇団では芝居のほか、さまざまな職業や学校の人を対象とした演劇のワークショップの手伝いも経験したという。「劇団の活動を通して、人を元気にすることができるとレクリエーションに興味を持ちました」。久慈に戻ってきてからはレクリエーションインストラクターの資格も取得。その経験が今の仕事にも生かされているようだ。

そんな柏木さんの趣味は、一日中でも平気という映画鑑賞。休みの日は映画をみたり、愛犬と一日ゴロゴロして過ごすことも。「実はインドア好きなんです。結婚して子どもができたら家族でかくし芸大会やショートフィルムづくりをしてみたいですね」と照れくさそうに顔を赤くする。

やませ土風館は5月初めに来館者10万人を達成。順調な客足に柏木さんは「本当にありがたいこと。でももっと自分の街の魅力を引き出していきたいです」と、さらに前を向く。街の魅力を引き出す方法。それはきつと笑顔の先に見えてくる。